

二王子会 介護支援専門員意見書作成の留意点

1.本人の状況

認知症による不適応行動／頻度

認知症の不適応行動がある場合は、次の目安で頻度を記入する。毎日に該当する場合は○印をつける。

<p>①夜間不眠や昼夜逆転している。</p>	<p>夜間不眠の訴えが何日続き、明らかに昼夜が逆転するなどし、そのために日常生活に支障を生じている場合をいう。この不適応な行動によって、日常の食事や入浴などの生活リズムが著しく乱れ周囲の人との生活継続に大きな支障がある状況。</p> <p>【該当しない例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間に目覚めることがあり、その際、排泄やおむつ交換などの適応的な要求がある。 ・夜間目覚めている状況はあるが、ご本人の生活に支障がなく、家中歩き回るなどの適応的でない行動も伴わないもの。 ・夜間の不眠やその際の不適応な行動も見られるが、それが本人や家族の生活に著しい支障とまではなっていないもの。
<p>②一人で外に出たがり目が離せない。</p>	<p>住まいの構造上、外へ出られる環境にあり、目が離せない場合をいう。</p> <p>【該当しない例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境上の工夫等で外へ出ることができない場合。 ・外へ出たがるものの、ご本人が歩けないなど出ることができない場合。
<p>③火の不始末や火元の管理ができない。</p>	<p>たばこの火、ガスコンロなどあらゆる火の始末や火元の管理ができない場合をいう。</p> <p>【該当しない例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境上の工夫等で、火元に近づくことができない場合。 ・周囲の人々によって火元が完全に管理されている場合。
<p>④不潔な行為を行う。(排泄物をもてあそぶ)</p>	<p>便や尿などをもてあそぶ、尿を撒き散らす場合をいう。</p> <p>【該当しない例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄に失敗したことで周囲が汚れる場合。 ・排泄の後始末が十分でなく、衣類や周囲が汚れる場合。 ・入浴や身の清潔保持を嫌がり、または不十分なために身体が清潔でない場合。
<p>⑤食べられないものを口に入れる。</p>	<p>異食行動をいう。</p> <p>【該当しない例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過食行動 ・異食しそうなものを周囲に置いてない場合。

2.在宅サービスの利用度

<p>在宅サービス利用限度額割</p>	<p>サービス利用票別表に基づく支給限度基準額に対するサービス利用額の割合をいう。(サービス利用単位数/区分支給限度基準額単位数×100) 算定の期間については、直近3ヶ月の在宅サービス平均利用割合とする。なお、病院、施設に入院(入所)していた者で退院(退所)後、間もない場合は、今後、見込まれるサービス利用割合とする。</p> <p>算定の対象となるサービスは、次のとおりとする。訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、小規模多機能型居宅介護、福祉用具貸与等</p>
<p>利用サービス</p>	<p>利用中のサービスの頻度を記入する。</p>
<p>入院・入所等</p>	<p>他の医療機関や入所施設等に現在入院(入所)している申込者は、「病院施設名」に記入し施設の種別も記入する。</p>

3.主たる介護者・家族の状況

①主介護者の年齢・続柄	同居家族で主介護者を特定し、その年齢、本人から見た続柄を記入する。	
②介護者の障害・疾病	介護者の障害・疾病の有無を記入する。「あり」の場合は、障害疾病名を記入し次の目安で介護の状態を記入する。	
	介護は困難	介護者が障害や疾病のため要介護者の排泄、入浴、移動、着替え、食事などのADL全般の援助が困難な場合。
	多少は介護	介護者が障害や疾病のため概ね2つ程度のADL援助ならばできる場合。
	介護は可能	介護者に障害や疾病はあるが ADL 全般の援助・介護が可能な場合。
③介護者の就労	1日の平均労働時間を算出するために記入します。	
	あり	職種及び週何日、何時間労働しているか記載する。
	なし	就労できない理由を記入する。
④主介護者の育児・家族の看病	育児、看病の頻度は次の目安で記入する。	
	常時育児看病	介護者が、毎日、常に育児や入所希望者以外の家族の介護や看病を行っている状態。
	半日育児看病	介護者が、ほぼ毎日・半日程度、常に育児や入所希望者以外の家族の介護や看病を行っている状態。
	臨時育児看病	介護者が、ほぼ毎日・半日程度には及ばないが、育児や入所希望者以外の家族の介護や看病を行っている状態。
⑤他の同居介護補助者 ⑥別居血縁者の介護協力	あり	
	同居、別居の協力者の続柄と協力頻度を記入する。 頻度については、次の目安で記入する。	
	随時あり	週1～3日。1日2時間程度以上又は頻回で1日とカウントする。
	常時あり	週4日以上。1日2時間程度以上又は頻回で1日とカウントする。

○勘案すべき事情

家族介護の負担を評価する指標となります。BPSDにあたる症状のうち、介護への抵抗、暴言暴行、被害妄想的の言動について、頻度を記入する。

○特記事項

認知症による不適応行動や勘案すべき事情に該当項目がある場合、その内容について記入する。また、入所担当者に伝えたい内容等も記入する。(別紙でも可能)